



耐久高等学校同窓会報

耐久



とう しょ こく
日本・太平洋島嶼国、若人交流計画に
耐久高校が選ばれる。(全国で一校)

No. 15

— 外務省の外郭団体、(社)日本外交協会が主催 —
(パラオ共和国、耐久高共 生徒5名、引率教員1名)

湯浅の顕国神社の秋祭りに両校揃いぶみ

— 2004. 10. 18 —

日本・太平洋島嶼国(パラオ)、若人交流計画 全国で一校・耐久高校が選ばれる! —派遣 & 受入れ

耐久高校では、米国やニュージーランドの姉妹校との交流や、長期・短期の留学生の派遣と受け入れなどを積極的に行い、様々な機会をとらえて国際理解教育の推進に取り組んでいるが、本年度は湯浅町のご支援のおかげで、パラオ共和国の人々と交流を深める機会を持つことができた。これは、第



2年生の陣座尚盛君、橋本侑佳さん、3年生の濱井まりえさん、坂田あけひさん、山田江理奈さんと英語科の松本が参加した。現地では、パラオ高校の生徒、教員宅にそれぞれホームステイしながら、パラオの人々といろいろなことについて話し合うとともに、様々な異文化体験をすることができた。

かつて日本の委任統治領であったパラオには、当時の建物が今でも残り、旧南洋庁舎は裁判所、旧気象観測所は国立博物館として使用されていた。ペリリュー島では、現地の老人会の人たちから日本語で戦争体験談を伺い、山中に放置された戦車や大砲、ゼロ戦は私たちに戦争の恐ろしさを肌で感じさせた。また、耐久高校の生徒全員で折った千羽鶴を西太平洋戦没者の碑に供え、全校生徒と心を一つにして世界平和を祈った。

自然美も素晴らしい、特に海の美しさは言葉では表現できないぐらいであった。海上に点在する石灰質の島々が作り上げる絶景「パラオの松島」。スキーバダイビングのメッカとして日本人にも有名なパラオの海で私たちは魚釣りを楽しんだり、何匹ものクラゲが浮遊する海水湖でのシュノーケリング体験に感動した。

本・太平洋島嶼国若人交流計画」によるもので、厳しい審査を経て全国で本校がただ1校だけ選ばれた。

8月の派遣プログラムには、2年生の陣座尚盛君、橋本侑佳さん、3年生の濱井まりえさん、坂田あけひさん、

10月には、パラオ高校の生徒5人と教員1人が来日し、8月に派遣された生徒・教員宅にホームステイした。



同窓会活動報告

2004年

- 10月7日 組織強化委員会(於 学校)
- 12月 役員会(於 学校)
- 14日 硬式野球部100年実行委員会(於 学校)
- 26日 先輩の授業(金澤 賢治 氏)
- 11月16日 留学経験者の授業(川戸 七絵 様)
- 12月20日 会報委員会(於 学校)

2005年

- 1月15日 硬式野球部100年実行委員会(於 うを丸)
- 1月 役員会(於 美屋井)
- 2月 同窓会館建設研究委員会
他校視察訪問[2班]
(県和商、桐蔭、田辺、南部)
- 2月19日 硬式野球部100年実行委員会(於 横浜)
- 2月28日 卒業予定者各クラス幹事との懇話会
…会長・事務局[予定]

硬式野球創部100周年記念事業決まる!

◆記念試合

[伝統校との対戦]

5月7日(土) 桐蔭高校

5月8日(日) 田辺高校・高野山高校

[県外優秀校との対戦]

5月29日(日) 彦根東高校(滋賀県) (W)

8月14日(日) 平安高校(京都府)

[近隣校との対戦]

8月2日(火) 有田中央高校(W)

8月4日(木) 箕島高校(W)

全試合・なぎの里球場(湯浅町)の予定

◆セレモニー & 招待試合

5月29日(日)

彦根東高校(滋賀県)、W ヘッダー

◆記念誌の発刊

各期の公式戦やメンバー表、写真等
部長、監督、OBのコメントも掲載
懐かしい当時を再現。乞うご期待

(12月発行予定)

◎記念事業成功の為、募金、並びに記念タオル
(1,000円)に、皆様のご支援をお願い致します。

—創部100周年記念事業実行委員会—

特集

三協則武鋼業株式会社

代表取締役社長 木村 哲治

稻むらの火に魅せられて



国語読本五年生の教科書に掲載され、我々の年代の者は学校教育の一環として学んだ。

私が学んだ和歌山県立旧制耐久中学校（現・耐久高校）は、嘉永四（一八五二）

年この物語の主人公五兵衛（本名浜口梧陵）が同志と謀り開設。学舎の永続を願い「耐久社」と命名された。

学校の百五十年の歴史と伝統が凝縮された当時の校舎

は現在も和歌山県史跡として旧校舎（現・耐久中学校）の片隅に佇んでいる。

さて、本題に入ろう。地震の時に起きた大津波の実話である。

数年前、美智子皇后がある懇談会の席上、その年に起きた天災・人災に対する悲しみを述べられた後「子供の頃、教科書に『稻むらの火』と題し、津波の際の避難の様子を描いた物語があり、その後長く記憶に残った事でしたが、対応の可能性が学校教育の中で具体的に教えられた一つの例として思い出されます。」と語られたことを新聞紙上で知った。

この『稻むらの火』は一九三七年から十年間、小学

村人達の精神的支柱となり、物心両面からの援助を早速実行に移したこと。

* 隣村からの救済米借用
生活資金の融通

* 復興の為の私財の放出
玄米二百俵放出

(農民・漁民・商人)

防波堤の築造

(就労対策) 五年で完成

などなど枚挙に暇がない。

彼の英断によつて築造された防波堤は、昭和二十一年の南海地震津波の折には、被害を最小限に止め町を救つた。

ラフカディオ・ハーン（小泉八雲）が、「東洋の『生きる神様』とまで畏敬した五兵衛こと浜口梧陵は、明治新政府の初代『駅通の頭』（郵政大臣）に任せられ、今話題の『郵政民営化論』を唱えている。

若き勝海舟に対する経済的援助、西洋医学に対する積極的理解・援助等、人材育成に関するエピソードにも事欠かない。

「稻むらの火」の原作者が奇しくも耐久中学校の先輩にあたる中井常蔵氏であることも付記したい。

そこで終わるが、被災後の惨憺たる村の復興のために五兵衛（浜口梧陵）が果たした対処の数々には驚かされた。

先ず、虚脱状態に陥った

経営者として学ぶことの多いことを痛感する。いずれの事例を見ても、人の上に立つ者が心に留めておかなければならぬ心得ではなかろうか。

さて、近年東南海地震近しの論評しきりである。地震の有事の際の対処等、種々のメディアが警告している。

人々の有事の際の対処等、震・津波発生を想定した施設の充実、それにもまして

【付記】

寄稿された文中に「稻むらの火」の原文が引用されておられましたが、紙面の都合により割愛させていただきました。

（A）各期の幹事・評議員さんの確認と見直し（往復ハガキにて）

- (B) 50才を迎えた学年と卒業後4~5年を対象に同窓会開催を奨励する運動
- ※案内状（往復ハガキ）の作成一切を本会に於いて行う。
- ※つり名札お貸しします。

委員会情報

組織強化委員会

- (A) 各期の幹事・評議員さんの確認と見直し（往復ハガキにて）
- (B) 50才を迎えた学年と卒業後4~5年を対象に同窓会開催を奨励する運動
- ※案内状（往復ハガキ）の作成一切を本会に於いて行う。
- ※つり名札お貸しします。

同窓会館建設研究委員会

- ・各校の同窓会館を見学視察訪問
 - (1) 県和商・桐蔭
 - (2) 田辺・南部
- ・自校同窓会館建設の必要性と問題等、今後の研究調査

◆会報委員会

原則として年二回（2月・8月）発行。
購読ご希望の方は送料・協力費（1,000円）
送付の上お申込み下さい。以後郵送致します。

（筆者紹介）
木村哲治氏

疎開のため旧制耐久中学に二年間だけ在学し、昭和21年4月第40回生として卒業。

昭和27年 鉄商（三協鋼業）を個人創業。

昭和35年5月（三協鋼業KK）を創立。

平成14年7月創業50周年を迎える。

平成16年4月則武鋼業を統合し、社名を「三協則武鋼業株式会社」に変更し代表取締役社長に就任。

ご理解ご協力を…！



関東耐久会では楽しみにしていた第二回親睦ゴルフ大会を平成16年7月29日群馬県の「パルコール嬬恋ゴルフコース」にて17名の参加を得て開催いたしました。

今回は泊まり掛けの試みでした。が、前回(11名)を上回る参加者が、大いに盛り上がりました。前夜は北軽井沢のホテル「クリオコート」に宿泊いたしましたが、ここは我が校の卒業生である南方由子さん(昭和33年卒)が支配人をされており、夕食は心のこもったフレンス料理に舌鼓を打ち、神山顧問と小室会員より差し入れて頂いた美酒に酔いしました。この後もホテルで大いに歌い、大いに語らい、そしてなお飲み交わしました。

今回泊まり掛けの試みでした。が、前回(11名)を上回る参加者が、大いに盛り上がりました。前夜は北軽井沢のホテル「クリオコート」に宿泊いたしましたが、ここは我が校の卒業生である南方由子さん(昭和33年卒)が支配人をされており、夕食は心のこもったフレンス料理に舌鼓を打ち、神山顧問と小室会員より差し入れて頂いた美酒に酔いしました。この後もホテルで大いに歌い、大いに語らい、そしてなお飲み交わしました。

明くる日は昨夜のお酒が覚めやらず、少々二日酔いの中、ゴルフ場に向かいました。あいにく当日は関東近海を通過した台風の影響もあり、時折小雨の降る中でのプレーでしたが、井沢の涼しい天候に恵まれ、和気あいあいの楽しいゴルフで一日を過ごす事が出来ました。

ゴルフの成績は木内大夫氏(昭和23年旧中2年修了)がベストグロスで以って優勝となり、高居会長よりご寄贈のすばらしいライオンを形作ったカットグラス製の賞牌が贈られました。準優勝は森治夫氏(昭和33年卒)、三位は大野博司氏(昭和32年卒)でした。

今回は当初参加を予定されていた橋本佳巳耐久高校同窓会長がご都合で欠席されましたが、表彰後全員が同会長より頂いたお土産を手に次回の再会を約しつつ帰路につきました。

本会としては、これからも一人でも多くの同窓の方々のご参加をお待ちいたしております。

最後になりましたが、今回親睦ゴルフ大会にあたり格別のおもてなしを賜り、且つ素敵なお土産の紹介等色々とご配慮頂いた、南方博之、南方由子ご夫妻に厚くお礼申しあげます。

関東耐久会副会長 九鬼利郎

関東耐久会第二回親睦ゴルフ大会

第二回バス旅行記

平成16年11月14日(日)紅葉の季節、秋酣「丹沢山系宮ヶ瀬ダムと大山阿夫利神社への小さな旅」と銘打って、秋のバス旅行が実施されました。

参加者は34名(昨年のバス旅行より4名多い)男女概ね半々のメンバー構成で、予定通り8時半東京駅を出発しました。東名高速を厚木インターで降り、車窓から紅葉の風景を眺め、懐かしい和歌山弁での会話を楽しみながら、バスは一路宮ヶ瀬ダムへと向かいました。遠路駆けつけてくださった藪添校長先生により、車中、学校を取り巻く最近の母校事情を承り、また、同窓会本部よりの「寸志」をも頂戴いたしました。

宮ヶ瀬ダムに到着してみると、湖の壮大な眺めに感激、高さに驚嘆です。中でも観光放流と言つてダムの水を6分間放水した様は圧巻でした。このダムは高さ一五六m、体積二〇〇万m³、貯水量一億九、六〇〇万m³あり、老94歳の久保田さん他6名は、鶴巣温泉で一風呂浴びて英気を養い、ビールを呑み呑み故郷談義に花を咲かせました。

一方、階段登りを諦めた最長老94歳の久保田さん他6名は、鶴巣温泉で一風呂浴びて英気を養い、ビールを呑み呑み故郷談義に花を咲かせました。

帰り、楽しかった旅を語らしながら、バスは6時半に東京駅に到着し散会となりました。お昼は、大山名物の豆



先輩の授業

「航空の安全について」

金澤賢治氏

も感動を覚えたのではなかろうか。



資料の一つ航空機の国籍 符号（後記）があることなどを教えて戴いたが、飛行機に関する知識として覚えておけば、私たちの航空に対する親近感や世界にはばたく夢をよりいつそう掻き立たせてくれるにつながるだろう。

ないものだということを考えさせられた一時であつた。昨今、生活の近代化が進む中で、私たちのすぐ隣に潜む危険について、ともすれば鈍感になつてゐる現実に對する警鐘として時宜を得たお話をあつた。

先生のお別れの言葉は
「GOOD LUCK」
先生お若い！お若い！
尚、当日は近隣在住の
同級の方々数名、同窓会役
員の有志も参加された。

国籍符号	国名	国籍符号	国名
N	アメリカ	VT	インド
F	フランス	PK	インドネシア
G	イギリス	PI	フィリピン
I	イタリー	HS	タイ
D	ドイツ	HL	韓国
VH	オーストラリア	CF	カナダ
HB	スイス	JA	日本

平成17年1月14（金）学上会館において関東耐久会議員会の新年会が開催されました。創立以来今回が初めての新年会でしたが、22名の評議員が参加され大変な盛況でした。

会長のスピーチは、「関東耐久会の継続発展の要である若い会員にもっと入ってもらいために如何すればいいか?そのためにも今年のイベントももつて魅力的なものにして行きたい」と云うことでした。

津川建四朗会員には地震でお忙しいなかご出席戴き、新潟やインド洋の地震のお話とか、地震予知が今のところは難しいとのお話を承りました。今回の大災害のことを考えると、できるだけ早く予知が実現されることを願うばかりです。また、先日「瘤むらの火」がNHKで放映されたことが話題となり、耐久高校創立者の濱口梧陵翁の偉業を偲び、我々はこのことを未永く語り継いで行かなければならぬのだと、改めて思いました。

その後自己紹介があり、お互いの生い立ちや人生観が語られ、親睦と相互理解に役立つたと思いました。若い会員から、会員を増やすには「年代を超えて理解し合い助け合う心」を持って欲しいとの提案があり、これからいろいろ考えて行かなければ感じました。

世代を超えてのこの集まりを、これからもさらに活発に、そしてもっと広げていきたいと思つております。

第4回 総会予告 平成17年5月14日(土) 12:00~ (総会と懇親会)
ホテル メトロポリタン(池袋) 15:00~ (2次会に移動)



◀ 年代を超えて理解し、助け合うこころ ▶

評議員新年會記

関東耐久会 監査役 日本販売促進(株)代表取締役 申 村 久 和 (高校・昭和29年卒)	関東耐久会 副会長 九 鬼 利 郎 (高校・昭和28年卒)	関東耐久会 副会長 丸 山 昌 子 (高女・昭和21年卒)	関東耐久会 会長 (株)アキレス・エース会長 高 居 富 一 (旧中・昭和17年卒)	関東耐久会 顧問 海光電業(株)代表取締役会長 神 山 定 夫 (旧中・昭和11年卒)
---	-------------------------------------	-------------------------------------	---	--

「留学経験を通して」

ロータリー財団親睦奨学生
川戸七絵様

川戸七絵様



英ケント大（社会科学）↓太
学院で修士号取得）、福島麻
木さん（1981～82年）

本校一年時に青少年長期支援
学生として米国派遣)、そ
して今回の講師の川戸さんとのよ
うに、過去に有田南ロータリ

一ヶ月前の推薦を受けた本校の先輩たちが

11月16日(火)放課後
本館四階L.L.教室にて、国際ロータリー第264地区より推薦派遣された川戸七絵さんを講師にお招きし「財団奨学生として学んだこと」と題された授業が開講された。これは同窓会の生徒支援事業の一環であり、自由聴講の形式で特に留学に関心を抱いて

川戸さんは、派遣先の英国での留学体験について、流暢な英語を交えながら次のように話をされた。

自分に向かって大いにこのような機会をとらえアタックするよう促された。

には、チャンスは活かすもの紹介された。また受講生たちには、自分に向かって大いにこのような機会をとらえアタックするよう促された。

感謝していること、等。
最後に、将来留学する際の心構えや特に注意すべきことなども生徒たちに伝授され、「自分の夢をしつかり持って精一杯の努力をして下さい。皆さんのへの支援は惜しみません」という言葉で授業を閉められた。

川戸七絵さんのお話を聞いて、山田江理奈
川戸さんは写真を見せてくれたながら、イギリスでの事を話してくれました。写真の中の川戸さんはすごく輝いていて、笑顔に満ちあふれていました。私は短期で留学した事がありますが、留学の留学では分からぬことは大前提」とアドバイスしてもらいました。しかし、その時は「自分にはできない」とあきらめしていましたが、へとへと川戸さんのお話を聞き、夢は自分でつかむのだと分かり、「私も留学し、英語で自分の勉強したい」と思いました。

いる約20名の生徒が受講した。授業に先立ち、橋本同窓会長からはロータリークラブの概要についての説明がなされた。1998年度の泊り五十美さん（ノルダム女子大卒→米セントクラウド州立大英語学）――大学院で修士号取得）1990年の高居千華子さん（松蔭女子短期大卒→米

一つは、日本の大学との教育方針の違いとして、あちこちでは講義に頼らず自分で勉強することが習慣化されていること。「理解する」方式の勉強ではなくて「自分で考える」ことに重きを置いた学習であり、大いに苦労しながらも自分のスタイルを身につけていたこと。

また大学寮では様々な国際

その後の質疑応答で「先生の将来の夢は」の問い合わせにすかさず「外交官」です。これは、同席した教頭先生はじめ生徒一同顔を見合わせて唖然とした表情。50分という短い時間ではあったが、受講した生徒たちはそれぞれに何かを感じ、この授業から何とかの指針を頂けたのではないか。

英語「を」を学ぶだけでなく、英語「で」何かを学ぶ」とは本当に大変なことだなあと思いました。私は以前英語と、もう一つ勉強したい事があり、どちらの道に進もうか悩んでいました。その時、外務省でつとめておられる方に「英語は何かを学ぶための手段でもあるんだよ。英語以外にやりたい事が

ような苦勞が、川戸さんにはたくさんあったと思います。英語「を」を学びたい!!」と強く思ってになりました。私は今まで口―タリーカラブについて全く知りませんでしたが、今回お話を聞かせていただき、奨学制度に強く関心を持くようになりました。同時にこのようない機会に積極的にチャレンジしてみたくなりうようになりました。そして川戸さんのように夢を与えるれるようになります。

腸から元気「ドクターひむか」
(株)ワールドヒューマン社長
関東耐久会議員
高垣忠徳
(高校・昭和54年卒)
TEL 045 251 7178 FAX 045 262 9600

「体の不調はコンセランで解消」
(株)コンセラン代表取締役専務
関東耐久会副会長
小島 美津子
TEL.03-5298-8241
URL <http://www.comtheran.co.jp/>

関東耐久会
副会長
大野博司
(高校昭和32年卒)

関東耐久会
評議員
北野正治
(高校昭和31年卒)

関東耐久会
副会長
上野 清
(高校昭30年卒)

母校への支援活動へのご提言をお寄せ下さい。

旧制耐久中学の部

「耐久懷古」

田耐久中教諭
斎藤 勇吉

山河哭きし
夏いくそたび
巡り来て
雲は祈りの
貌もられて湧く

佐々木志郎氏（三十九期卒）
NHK歌壇入賞に輝く！

昭和二十年春、学徒動員
先の播磨造船所で、旧制中
学三十八・三十九期合同卒
業式が行われた。

その後も果てしない戦の日々、
戦場への召集令状がいつ来るか、「人生僅か二十年」が
同期生の合言葉であった。全
く青天の霹靂！同年八月
終戦。

「山河慟哭」のその日から
毎年八月その日と同じ夏空
に湧く入道雲を見ては、嚴
肅な祈りの気持ちを禁じる
ことはできない。

今回の歌題は「祈る」であ
った。歌は稚拙であり入
選は偶然であるが、真情は
吐露した。

ひとときは真剣に考えた「人
生二十年」が我々の青春で
あつた。

佐々木志郎

学校からお世話をいただい
た下宿のお婆さんも右に同
じでした。

学校の玄関には新学期前
とて荷物が山積。薄暗く乱
雜の有様、日本一汚い学校
というのが第一印象でした。

昭和三十四年の退職まで耐
久一筋（一時他校兼務）で
教職を終えた。退職を前に
耐久の研究冊子「耐久」に
在職中の回顧談を寄稿した。

比較するのも憚られるが
漱石の名作「坊っちゃん」
もどきな手記があるので、
眉に唾してお読みいただき
たい。
（斎藤 勇太郎）

昭和十一年四月六日。この
日から私の耐久時代が始
まりました。福島出身の前任者（金成勇夫氏）の転任
希望と私の南下希望が一致し、
この転任が実現したわけです。

赴任の途中、東和歌山駅（現
和歌山駅）で耐久中学へ行くには「湯浅駅」と「紀伊
湯浅駅」の二駅があるがどちらが便利かと聞いたら、
人の多さに驚きました。

到着後初めて学校に参りましたら、春休中で校長は
留守。出てきた小使いさんの言うことがさっぱり分からずほと弱った記憶があります。

※本号での紙数終了



美術研究会の自画像

当時の耐久名物は、なん
と言つても第二时限終了後
の「中間体操」と、毎週水
曜日の「日の丸弁当」（別名
「緊縮弁当」）でした。

「中間体操」は、全員上半
身裸、運動場を十分程の駆
け足、その後「タワシ」で
上半身摩擦。小雨でも寒中
の小雪の時でも実施されま
した。ここで忘れられない
のが菅原季雄先生である。

翌日、初めて「広瀬実造
校長」と面接。校長室に掲
げられた宝山良雄先生の写
真から、私の母校庄内中学
校と耐久との関係を知り、
その奇縁に驚きました。

赴任の翌々日、県庁から
の呼び出しがあり、時永知
事から「お前は東北生まれ故、
言葉には十分気をつけよ」
という要旨の訓示。

その後、この話を例年一
年生の諸君に紹介して「先
生の言葉も変だろうが、諸
君の言葉もちよつと日本語
離れしているから、お互
に気をつけよう。」と話した
のです。

耐久赴任当時三十八才、
校長・教頭を除けば小生よ
り年長者は二〜三人、皆若
い連中で、学校も活気に満
ち満ちた雰囲気でした。

の通りですが、カンニング
をする生徒が多く、表面に
は梅干し、中段に山海の珍味？
を忍ばせてこつそり頂戴す
るのだが、発見された時は
二日間の延長が課せられ
いた。ある時小生が違反生
の珍味を見付け次第食べて
しまったのが物議をかもし
職員会で問題になり紛糾し
たこともあります。

年金、介護保険制度、少
子化、失業問題等、難題が
山積している厚生労働省。
日夜猛勉強中だとかで、心
なしか疲れたご様子でしたが、

西 博義氏（高校19期）
厚生労働副大臣就任 祝賀会
私たち同級生のホープ西
君が「厚生労働副大臣に就任」
のニュースを聞いて、十一
月六日、同級生の店「江戸銀」
に有志が集まり、無礼講の
祝賀会を開催しました。



有田高女の部

平和を祈る

うつむきて祈るかたちに
白百合の群れ生ふ山の辺
今日原爆忌

手をふりて イラクに向ふ
父 送る 幼な児映る
殺されず 殺さず無事に
帰りませ 幼な待ち居り
アフガンの 幼な瞳
清ければ 吾はひたすら
平和を祈る

聖戰を信じ、「八絃一字」「東洋永遠の平和」を素直に心
与えられしと誰が言ふらむ
戦死せし 同朋が遺産と
守り奉し憲法

「戦争は駄目だ」と言ひて
はやばやと 投票にくる
老ひ人のあり

戦なき世を祈りつつ
連れだちて 成人式に行く孫を見送る

戦勝の祈りをこめて
辿りつきにし 思ひ出もあり雨の大門

昭和十八年夏 私達有田
高女二十三期生の修学旅行は、
徒歩で高野山。途中二川小
学校・清水公会堂で「出征
兵士遣家族慰安の夕べ」を
地元の小学生と合同で開催
し 合唱や劇をしました。

二川からは「夜行軍」と
の名で、夜を日についで進
撃する皇軍を偲びつつ夜道
を清水へ急ぎました。

清水で一泊し、翌日は、
安諦村を通り伊都郡花園村
に入り、梁瀬坂を登つて高
野へ。その坂のきつかった事。
大雨の中を大きなリックサ
ックを背負ひ、汗と涙と雨
ともわからぬままに、黙々
と地を這ふようにして大門
に辿り着きました。

聖戰を信じ、「八十路わ
はす 平和祈りて半世紀
七十路われば 短歌を詠みつぐ
戦はす 平和祈りて半世紀
七十路われば 短歌を詠みつぐ
物のなき時代に育ち
飽食の世のかなしもも
知りて七十路

月明りハーモニカ吹きゐし
旅立ちは温き日和よ
シベリヤに果つべき命と
言ひし 君はも
行く川の水の流れや
通夜の席に
逝きたる人との縁をおもふ
物のなき時代に育ち
飽食の世のかなしもも
知りて七十路

白魚採り
那耆の浦風まともなる
・良き汐に
・白魚火
・古の世の流れあり
・白魚火に
・良き汐に
・静かさや
・白魚火浸るばかりなり
・さしむ脚立に白魚波む

同級生の遠慮ない言葉が飛
び交う中、いつもの快活な
西君に戻つて、心境や抱負
を語つてくれました。

津木山間部から耐久高校
まで自転車通学し、勉学と
軟式野球部活動を両立させ
て培われた真摯な努力と情熱、
庶民感覚で任務に尽力され
ることを期待致します。

(法眼貞子記)
西 博義氏のお札状より
先日は大勢の同級生に集
まつて頂いて、盛大な「厚
生労働副大臣就任祝賀会」
を開催して頂き、心より御
礼申し上げます。この十一年、
常に立場が先行して、それ
にふさわしい力をつけるこ
とに必死という状況の連續
ですが、「耐久力」で頑張る
覚悟です。

ブラジルに移民して半世紀
この度アストルが市制記
念日に COMENDA 賞(名
誉帶勲章)を頂きました。
一五二年の歴史を
誇る「耐久」の名を汚
すことのないよう
健康の許す限りご奉仕をと
考へています。(左端が桑原氏)

崎山恵美子
(第23期)

挺身隊で病気になり 長
い闘病生活をされた同期の
方の遺作です。

・夜々祈る
いつか果つ日の虫の音に

清水トク美
(第14期)



ブラジルに移民して半世紀
この度アストルが市制記
念日に COMENDA 賞(名
誉帶勲章)を頂きました。
一五二年の歴史を
誇る「耐久」の名を汚
すことのないよう
健康の許す限りご奉仕をと
考へています。(左端が桑原氏)



古稀の集い

私達、耐久高5期同窓会では8月17日～18日の両日、かんぼの宿、紀伊田辺で1泊2日の同窓会を2年4ヶ月ぶりに開催しました。物故者は33名と多くになりましたが、当日は東京、京都、大阪、岡山方面からの出席をはじめ、地元からの参加者を含め45名。湯浅からバスに乗り4時頃宿に。

温泉でくつろいだあと、夕食と共にしながらの交流会、カラオケ、舞踊などで盛り上がり、翌日は天神崎の海岸など見てまわりながらの楽しい同窓会となりました。

次回の世話を三木弘君にお願いし、出席者全員が再会を約束して紀南の土産をいっぱいにかかえ元気に解散。

(阿瀬 誠一郎 記)



高14期(5・6組)

この顔がこんなふうになりました。

還暦を迎える高校時代の写真入りカードをつけて収集

全クラスの同窓会を開いてから十数年経った。幹事の一人が56歳くらいの頃に、みんなが還暦になつたときに同窓会をやろうよ!と言っていたが、その後一向にその気配がない。そんなとき、私のところのホームページからアドレスを見つけ、メールが届いた。

3月生まれの私の誕生日前日であった。「昨年9月末定年退職し、今は関連会社の役員で週3日の仕事。そろそろ耐久の同窓会など企画頂ければ」という内容で、さすが日本を代表する大手総合電機メーカーの優秀社員であつた人らしい、上品でつつましいお願いであつた。早速、友人の弁護士に相談(とはただごとではない感じ)、「ではやつてみようよ」と彼は乗り気である。実はこの先生、昔は分割みの商売の関係もあって、世話をしてくれたら行くよタイプだったが、最近は変わった。自分の知識は惜しみなく提供するし、人々

に奉仕する本当に世話を好きになって、東大法学部卒であることを忘れさせるほどである。といふことで、彼の尽力のもと、事務員の方に案内状の作成、郵送などしてもらうなどして、9月12日ホテルグランヴィアでの同窓会となつた。

みんな面変わりしている、単なる名札カードより学生時代の写真入りネームカードがいいんじゃないかといふことでお願いすると本当にやつてくれた。大変だったそうだが、そうそうこの顔なんて言つて懐かしむ人で評判がよかつた。自己紹介では退職後の再雇用で何

めくくつた。また一階の喫茶でも1時間以上過ごし、次は3年後という約束をして別れた。

後日、「楽しい一日が過ごせました」と、ご丁寧に女性3名「みんな美人だった」から礼状やお電話を頂いた。私はあまり何もしていないのだが、みなさん青春を思い出させてくれて、有難う。3年後元気で会いましょう。(大原裕記)



小川産業株式会社
代表取締役 小川 祢一 奈良市学園緑ヶ丘2丁目11-11 TEL. 0742-44-5072

ありだ農業協同組合
代表理事組合長 後安朗 有田郡吉備町大字天満47番地の1 TEL. 0737-53-2311

オフィスのトータル販売
株式会社大栄商事

本社 和歌山市堺尾5丁目4-33
TEL. (073) 446-4511(代)
FAX. (073) 446-4512

吉田被服工業株式会社
代表取締役 吉田俊彦 (高4期生) 米子市和田町3005 TEL. 0859-25-0888

日本氣象協会 参与 理学療法士
津村 建四郎 (高校昭和27年卒)



今年50歳になる26期生が集まりました。



今年50才になる26期生
が集まりました。

往復ハガキ、宛名書き、

送付等のお手伝いを耐久同

窓会の活動の一つとして行

いました。幹事さんや有志

の方々に喜んでいただき、

平成17年1月2日11時高

校26期生の同窓会が、有田

市宮原町「橘家」にて、一

○五名の出席のもとに盛大

に開催されました。

松本先生、垣内先生、横

山先生、三尾先生、南先生

5人のご出席をいただき、

クラスごとに集まり各自交

流を深めました。

時間半ばで見渡せば、話題に花が咲いてお料理に手をつける人が少なく、ただお酒がたくさん売れたようですね。

皆さんが高い高校に戻り、本当に嬉しそうな顔・カオが今も脳裏に焼きついでいます。

(甘えた顔)

(ちよつと太めの顔)

(鼻の下が伸びた顔)

あつという間に3時間が過ぎ、二次会も湯浅駅近くの喫茶「ドンキー」を企画していましたが、嬉しい悲鳴であまりにも多くの参加で、座る所がなくビール箱をひっくり返して椅子がわりに

尚、硬式野球部一〇〇周年記念グッズ(タオル)にも80名様のお買い上げご支援を頂きましたことを併せて、厚く御礼を申し上げます。

建基基金他に運用させて顶きます。

◆高校26期皆様に感謝

この集いは同窓会組織強化委員会の呼びかけに応じて下さったものですが、幹事の方々のご配慮と皆様の母校愛、うれしい限りです。

頂戴した10万円は同窓会館

した程の盛況ぶりでした。
別れを惜しんで3次会、4次会へ行つた人もいて、いつまでも心に残る高校26期生の同窓会でした。

私事ですが、3年5組は31年前のビデオが残っています。海岸のゴミ拾い、相撲、バレー、応援合戦など一年間の行事が収められており3次会で放映して楽しいひとときを過しました。

そして後日、幹事さんや有志の方々が集まり5年後に同じ集いを開こうと堅く約束しました。

(古川友子記)



高校52期(平成12年卒)

学年
卒業後
マル
マル
同窓会

とき 平成17年1月3日(月) 17:00～
ところ 有田市宮原町「橘家」
参加総勢 110名
(うち恩師、山中隆男、秦記久、
白井敏之、田中清子、高井亮)
・卒業後5年が経過、学年マルマルみんなで同窓会をという声が出て決行!
・秦先生の乾杯の音頭でスタート。

日玉イベントは、出席者全員投票による「美男・美女コンテスト」

秦先生、井上亜紀が優勝賞品、豪華ブルゾンとウエストポーチ(湯浅町図書館前セレクトショップANNIE提供)をゲット!

- 参加者のうちで約10名は既婚者
- 2次会にも約30名が参加、5年以内に是非またやりたいという声多数。



スマトラ沖地震津波被災者支援チャリティーコンサート

ウェインフィル第1コンサートマスター

ライナー・キュッヒル★竹中勇記彦(高22期)
&ウェインの若き精鋭たち

3月25日(金)

19:00 開演

和歌山市民会館
小ホール
全自由席・前売¥3,800(当日¥5,000)

創部100周年行事を支援しよう!

球想会(高4期)
上野山和夫・中邑信五
五百崎博己・橋本佳巳

扇屋電機産業株式会社

相談役 木内大夫(甲中)
東京都渋谷区恵比寿2-8-13
神戸・尾道・岡山

メールアドレス taikyu-p@creamy.nax.ne.jp



糸 ソフトテニス部の巻

部活OB・OGたちの
近年ソフトテニス界
における和歌山県勢の
活躍はめざましく、中
学生女子、高校生男女
社会人男子はいずれも
国体やインターハイな
どの全国大会でその頂
点に立っています。
ソフトテニスに携わるも
のにとつては喜ばしい限り
ですが、その中で戦つてい
く本校の選手達には受難の
時代かもしれません。

こちらが平気そうな顔でコートを走り回っていると、先輩方もムキになりなかなかメニユーが終わらない、そんな慎ましやかな意地のぶつかり合いの中で基本的な体力、精神力、そして先輩後輩の繋がりが育つて、いつたような気がします。

そして時にでてくる冷えたスイカや山盛りの廣岡のコロッケがその糸を強めたのは言うまでもありません。いつの頃からかそうした縦の繋がりの接点が少なくなり、夏の強化練習、OB会でやつとお互いの名前を知るといった事も少なくないようです。OBとして大いに反省すべき事です。

ソフトテニスは年齢を重ねてからも続けてゆくことが難しくないスポーツです。（70歳代の現役選手もいっぱいます）まだまだ現役プレーヤー（のつもり）の一人として、母校のコート上だけでなく、有田地方の様々な大会の中で年齢を超えて試合が出来るような機会をつくり、切磋琢磨していきたいと考えています。そしてそれがいざれは北高、信愛の壁を乗り越えて全国大会への道を切り拓いてくれることに繋がる事を願つて止みません。

県ソフトテニス連盟
有田支部長 大西和彦
(高校29期)

Echo!

思います。恰も阪神淡路大災害から十年、地震防災が大きくとりあげられている折だけにNHK「その時歴史が動いた」の浜口梧陵と『稻むらの火』の放映は多くの感動を与えたと思う。そして、神戸国際会議場でのフォーラムに津村建四朗氏（高4期）がパネラーの一員として参加されたり、地

新潟中越地震、続いてのスマトラ沖地震津波は想像を絶する大惨事をもたらし、被災地の皆様には哀悼の念と、激励の意を表したいと思ひます。恰も阪神淡路大災害から十年、地震防災が大きくとりあげられていく折

◆ 同窓会へのご支援・ご献金有難うございました。左記ご披露申し上げ御礼にかえさせて頂きます。旧中35期 高居 富一様 旧教諭 森 三男三郎様 高校 4期 吉田 俊彦様 高校 4期 前田百合子様 高校 4期 五百崎博己様 高校 15期 江川 瑞峰様 高校 26期 同窓会一同様

(耐久大好きOB)

元、広川・湯浅両町の教委が今こそ『稲むらの火』の民話を防災教育に生かそうと、立ち上がったニュースには拍手をおしまないし、是非、副読本として甦ることを願うものである

同窓俳壇 古川桂三（高3期）



音もなく 気配も見せず 朝は雪
句稿練るベン遲々として 夜寒かな
ガラス戸に動きもにぶし 冬の蜂

田辺和子（高4期） 中山迪子（高4期）

帰省せし 子のみやげなる宇治茶より
茶柱の立つ酉年祝う

斎藤きい（高女職員）

新年に 顧みすれば 我が生は
明治 大正 昭和 平成

賀状届き それぞれにわける 家人の
手誅もどかし 元日の朝

集後記

社会のシステムは変革の嵐の中にいることが感じられます。教育界も例外であります。母校耐久はどうな未来を切り開こうとするのか、重大な局面にさしかかっていふと実感するとき、われわれ同窓会の在り方も十分検討されねばならないという思いを深くします。

本年度は総会開催の年度に当たります。会報に対するご意見にどどまらず同窓会活動全般についてのご意見、ご要望、忠言、叱責などどしどしお寄せいただきたく思います。

本会報も15号という節目を迎えましたが、この間皆様からいただいた物心両面にわたくるご支援に対し編集者一同心からお礼を申し上げます。

硬式野球部創部一〇〇周年記念事業は、こぞって応援したいと思います。

世間では、防災意識のたかまりとともに、「稻むらの火」にまつわる濱口梧陵の偉業が話題になることが多くなつています。